

最後は笑ったもん勝ち ～七中夢を育む講演会～

先日3月15日(水)に横田久世さんを講師に招き、七中夢を育む講演会を実施しました。3月19日の熊日新聞にも掲載されましたが、横田さんは5年前に電撃性紫斑病で、全ての両手指及び両脚を切断されました。絶望の淵から、懸命にリハビリをする中で「自分の生き方を見て感動してくれる人がある」ことを知り、現在は講演やYouTubeでマラソンや書道等に挑戦する



姿を多くの人に発信しておられます。今回の講演では、「ありのままの自分を受け入れること」「行動を止めないこと」「感謝の心を持つこと」の3点についてお話をされました。横田さんのお話には、どの言葉にも魂が込められており、生徒達にも大いに響いたようです。講演では終始、集中して話を聞く生徒の姿が見られました。一人一人が沢山の可能性を秘めている七中生です。今回の講演が、「諦めなければ夢は叶う!」という気持ちを持つきっかけになることを期待したいと思います。



今日、横田さんのお話を聞いて、私はこれからの自分と向き合い、ありのままの自分を受け入れていきたいと思いました。私はなんだかんだ自分にうそをついてしまうことが多いので、今日の今から自分にうそをつくのをやめようと思います。

次に自分のやりたいことなどを止めない・やめないで過ごそうと思います。私はすぐにあきらめてしまう癖があるので、自分のやりたいことを全力でやってみようと思います。

そして、日ごろから家族や友達、学校の先生方や周りの人に感謝を忘れず生きていきたいと思います。小さな出来事にも、ちゃんと「ありがとう」「ごめんね」と伝えていきたいと思います。

今日、横田さんから教えてもらった、自分にうそをつかずありのまま、自分のやりたいことを止めない、周りの人への感謝、この3つを忘れず、これからの毎日を過ごしていこうと思います。

2年1組 黒木璃珠

私は横田さんの話を聞いて、自分にあてはまる話がいくつもあってびっくりしました。3つの話はとても大切なことなので、生活の中でも大事にしようと思いました。

人が困っているときに助けてあげられる人になりたいと思いました。そして、感謝の気持ちを伝えられる人になりたいと思いました。

私も横田さんのように、心がまっすぐで毎日元気に生きていける人になりたいです。

1年2組 田村芽依

西会長からの謝辞の後



武末副会長から花束贈呈

七中生の活躍です

毎回、沢山の本校生徒の活躍を紹介できて、大変うれしく思います。

<桜祭り中学ソフトテニス大会>

○男子個人優勝 武末峻汰・杉島海翔ペア

<星野富弘美術館詩画公募展>

○入選 黒木璃珠さん

<日本少年野球春季全国大会出場>

○洲本奏さん(光の森ボーイズ)

※3月26～31日 東京都太田スタジアム

熊本県代表としてガンバってください!

皆様1年間ありがとうございました

保護者の皆様を始め、地域や行政機関の皆様方のご協力により、無事、今年度の七中の教育活動を滞りなく終了することができました。

振り返りますと、ひた向きに教育活動に打ち込む本校生徒の姿に感動したことはもちろんですが、真剣に我が子や我が子の友達を想う保護者のみなさんの姿に接したり、朝早くから農作業をされる地域のみなさんから元気をいただいたり(トマトやイチゴもいただき、おいしかったです)と、素晴らしい時間を過ごさせていただきました。1年間、本当にありがとうございました。今後とも七中教育にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

